**Oliver Sacks'** 

# Awakenings

# 『レナードの朝』 で学ぶ 医療問題と クリティカル・シンキング

-Understanding Medical Issues: A Focus on Critical Thinking-

MARTIN CONTRACTOR CONT

平井 清子 編著

NAN'UN-DO

AWAKENINGS ©1973, 1976, 1987, 1983, 1987, 1990, Oliver Sacks by arrangement through The Sakai Agency

#### はじめに

『レナードの朝』は、実在の精神科医であり作家でもあるオリバー・サックスが、自らの臨床経 験に基づいて書いた小説です。1960年代から80年代にかけて、アメリカのニューヨーク州、マ ウントカーメル病院で精一杯生きようとした患者たちと、それを支えた人々の物語です。

ここでは、人間の尊厳と病気の治療のあり方という、まさに現代の医学において課題となって いる問題のほか、治験、そして、治療とそれを受ける患者の環境や心理状態に関わるテーマが扱 われています。さらに、患者と治療従事者との関係、患者と家族の関係など提示される課題は尽 きません。その他、現代を悩ます「感染症」も物語の重要なテーマです。これらの医療問題を理 解し、考えると同時に、これらに関する重要な用語が表現など医療英語を習得していきましょう。

この作品は1990年に、ロバート・デ・ニーロと今は亡きロビン・ウイリアムズの主演によって 映画化され、その映画の製作にサックス博士自身が携わったことで、よりその完成度を高めたも のです。その原作である『レナードの朝』は学生が英語で読むには難しいですが、その内容は映 画では味わえない詳しい治療の経緯が語られ、また、様々な人間関係が丁寧に描かれ、全体に一 貫して流れるヒューマニズムが読む者の心を打つ秀作です。さらに医療英語の自然な表現、重要 語句などが随所に置かれ、医療を志す者にとっては、一度は読みたい作品でしょう。

テキスト作成は、編著者が自ら教鞭をとる医療系大学の学生のために、この作品の映画と原作 を用いながら手作りの教材を使用しはじめたことから始まります。この度、出版の機会を得て、 学生の皆さんに分かりやすいように原作の英文を平易な英語に書きなおし、医療英語として必要 な表現や語句を学習できるように工夫しました。さらにサックス博士の原書の中の表現を一部そ のまま使用し、臨場感を味わいながら学習できるように配慮しました。その他、作品の中で提示 されている医療問題を考える場を提供し、英語で批判的思考力を培う試みをおこないました。また、 この作品中扱われるアメリカの医療と生活に関わる知識を、各章に日本語でコラム形式で配置し ました。

幸い、サックス博士にはこの教材の日本での出版の意義をご理解いただき、版権を得ることが できました。さらにご多忙の中を、全ての原稿に直接目を通していただき、いくつかの医学用語 の適切な使用について貴重なご助言をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

本書が医学、薬学、看護、医療・福祉の分野など、将来医療に携わることになる学生の皆さん の英語学習に少しでも役に立つことができるのでしたら門外の喜びです。

本書は2016年4月に南雲堂より再版していただくことになりました。再版での大きな特徴は、 この作品を通して現代の身近な医療問題を学生の皆さんに英語の資料を調べながら"critical"に 考える場を設けたことです。自らの意見を英語で表現することに是非チャレンジしてください。

実は丁度その校正作業をしている最中の2015年9月初め、サックス博士の訃報が入ってまいり ました。人間の脳と心の働きを解き明かそうと、常に人間に寄り添ってきた博士に心からのご冥 福をお祈り申し上げます。そして、本書が博士の作品を一人でも多くの学生が読むきっかけとな るのでしたらこの上のない幸せです。

最後に再版に、あたってはいつもながら貴重なご助言とご協力を賜った株式会社南雲堂の営業 部・岡崎まち子氏、加藤敦氏に感謝の言葉を申し上げます。

編著者

## CONTENTS

はじめに	3
各章の構成と使い方	5
本書で学べる主な医療用語や医療トピックス	6

## Prologue

Chapter 1	Life at Mount Carmel (1)	 9
Chapter 2	Life at Mount Carmel (2)	 16

## Awakenings

Chapter 3	Leonard L. (1)	22
	Leonard L. (2)	
	Leonard L. (3)	
	Rose R.	
	Hester Y. (1)	
/	Hester Y. (2)	
	Rolando P.	
Chapter 10	Miriam H.	69

## Epilogue

Chapter 11 Chapter 12 Chapter 13 Chapter 14

Leonard L.	76
Rose R. and Hester Y.	83
Rolando P. and Miriam H.	90
The Movie AWAKENINGS	97

## 各章の構成と使い方

各章(5~6ページ)は、以下の構成になっています。使い方や授業での配分時間を記載しましたので、それらを参考にしていただければ幸いです。なお、各章のはじめに日本語のあらすじやポイントが書かれています。最終章では、映画との比較をしています。時期は問わず映画を見ることで、さらに深い理解ができることでしょう。

なお、WI・WIIについては発展学習として用意しました。学生の皆さんの興味や授業の進 度に合わせ、適宜使用していただければ幸いです。

#### I PRE-READING (10分)

その章で扱われる用語や、内容に関係するアメリカの医療、そして背景知識などについて、簡単なクイズ形式や説明などで英語で導入します。なお、ここで英語で取り上げられたものの中でも重要な用語については、再び他の章のVIで日本語で取り上げているので、確認して学ぶことができます。

#### **II VOCABULARY & IDIOMATIC EXPRESSIONS** (15分)

IIIのSTORYで扱う用語を中心に、重要語句の習得をします。各語(句)の意味となる 日本語、そして英語の説明文をそれぞれ選びます。

#### ■ COMPREHENSION (30分)

STORYでその章の内容を平易な英文でまとめました。Notesを参考に内容を正確に理解 するようにしましょう。CDを使って、聞き取りや音読の練習もしてください。次に、内 容把握問題として、True/False Questionsが用意されています。これによって、内容をよ り正確に理解できるでしょう。

#### **IV** USEFUL EXPRESSIONS (20 分)

原作の中で使われている、オーセンティックな英語の表現から、医療にかかわる基本的、 かつ重要な表現を取り上げました。語(句)のヒントを参考にして、自分で日本語に訳して みましょう。本物の医療英語の習得ができる、このテキストの重要なセクションの一つです。

#### V LISTENING FOCUS (15分)

原作の中で使われている台詞などを利用したダイアローグを作成しました。CDを聞き ながら()に単語を書き入れましょう。また内容を確認しましょう。

#### **W** MORE ABOUT AMERICAN HEALTH ISSUES (5分)

その章に関係した、アメリカの医療システムや病気、医療の歴史などを中心に、日本と 比較しながら、コラム形式で日本語で紹介しました。他の章のIですでに取り上げられた ものについて、より深く理解することができるでしょう。 《発展》

#### **W** YOUR OPINIONS

その章で学習した内容について、登場人物の関係や一般的な医療問題に関する英文の質 問を用意しました。英語や日本語で答えてみましょう。グループでディスカッションをす るのもよいでしょう。さらに、英文で短いエッセイにまとめるなどの課題としても使用で きます。

#### ₩ MEDICAL ENGLISH ENHANCER (英語で調べてみよう)

その章に関係した医療英語の key terms を英語の資料で調べてみましょう。日本の事情 と比較することで、より深い内容が学べるはずです。

	I. <b>Pre-reading</b> (英語で)	VI. More about American Health Issues (日本語で)			
Chapter 1	Encephalitis Lethargica(嗜眠性脑炎)	精神病医療の歴史			
Chapter 2	Bronx について	嗜眠性脳炎とは			
Chapter 3	Experimental Drugs (実験段階の薬の使用)	Parkinson 病と Parkinson 症候群			
Chapter 4	L-dopa (L-ドーパの効用と副作用)	実験段階の薬と治験			
Chapter 5	Amantadine (アマンタジンの効用と副作用)	アメリカの病院(1)			
Chapter 6	Psychiatric Care Team-members (精神科病棟で働く人々)	アメリカの病院(2)			
Chapter 7	<sup>てんかん</sup> Absence Epilepsy(欠神癲癇)	言語聴覚士(言語療法士)と視能訓練士			
Chapter 8	Tic-like Movements(チック)	理学療法士と作業療法士			
Chapter 9	Euthanasia(安楽死)	アメリカにおける看護師			
Chapter 10	US Psychiatric Institutions (アメリカの精神病医療の歴史)	アメリカにおける医師と病院の関係			
Chapter 11	Parkinson's Disease(パーキンソン病)	安楽死			

#### 本書で学べる主な医療用語や医療トピックス

Chapter 12	Clinical Trials(治験)	アメリカの医療保険制度	
Chapter 13	Chapter 13Neurological Infections (神経系感染症)アメリカ障害者法とは		
Chapter 14	V. Useful Medical Terminology 病気の症状についての用語、薬の形態に関する用語		

*Chapter 1* Life at Mount Carmel (1)

この話の舞台である、マウント・カーメル病院は、当時はどんな病院だった のでしょう。登場人物の紹介を中心に、そこでの生活やそれぞれの患者たちを 襲った嗜眠性脳炎について紹介します。

## **I PRE-READING**

Encephalitis Lethargica (嗜眠性脳炎)

Have you ever heard of encephalitis lethargica?

Fact 1: In acute cases, patients may fall into a coma-like state.

- Fact 2: The first outbreak was reported in Vienna in 1916-17.
- Fact 3:Between 1917 and 1927, an epidemic of this encephalitis spread throughout the world, but few new cases were reported after the 1940s.
- Fact 4: Some encephalitis-afflicted patients from the 1920s were still hospitalized, in a trance-like state, in the 1960s.
- Fact 5: Even today, very little is known about the causes of the disease.
- Fact 6: This disease may be characterized by high fever, headache, double vision, delayed physical and mental responses, and lethargy.
- Fact 7: Post-enchephalitic Parkinson's disease may develop after a bout of encephalitis—sometimes even as long as years after disease onset.

## **I** VOCABULARY & IDIOMATIC EXPRESSIONS

The following terms are used in the story below. Match each of the following words or phrases (1-6) with the correct definitions (meaning 'in context') from the box below (a - f). Also choose the appropriate Japanese translation  $(\mathcal{T} - \mathcal{D})$  for each term.

下の語(句)は、すべて STORY に出てくるものです。それぞれの英語の説明として、 ふさわしいものをa~fの中から選びなさい。さらにその日本語の意味として、最も ふさわしいものをアーカの中から選びなさい。

1 motionless	( ) (	)	2 institution	(	)	(	)
③ kinship	( ) (	)	(4) against great odds	<b>;</b> (	)	(	)
(5) colleague	( ) (	)	6 debilitate	(	)	(	)

- a) to make somebody's body or mind weaker
- b) not moving at all
- c) a large building where old people, orphans, prisoners, people who are mentally ill etc. live and are taken care of by an official organization
- d) a strong relationship between people who may or may not be part of the same family
- e) a word representing someone you work with, used especially by professional people
- f) in spite of many severe difficulties
- ア 困難をものともせず
- ウ 同僚
- オ 動かない、不動の
- イ (精神病院・孤児院・養老院などの)施設

**CD** 2

- エ 親近感、一体感
- カ(人・体を)弱らせる、衰弱させる

## **II** COMPREHENSION

The following story will help you to understand life at Mount Carmel. Please read and answer the true or false questions below.

次の英文を読んで、正しいものには T,間違っているものには F をつけましょう。

### STORY -

This is the true story of Dr. Oliver Sacks, a well known neurologist, and a group of patients that had fallen into a sleep-like state in the 1920s and '30s. Dr. Sacks tried, against great odds, to 'awaken' these patients from their trance-like state. These patients suffered from 'sleeping sickness,' formally called encephalitis lethargica, a poorly understood disease 5 suspected to be caused by a virus which attacks the brain and other parts of the nervous system. Although this debilitating disease had spread mysteriously throughout the world between 1917 and 1927, killing a third of those afflicted, many patients seemed to recover completely. However, many of these survivors developed 'post-encephalitic syndromes.' These 10 syndromes are a collection of neurological and psychiatric disorders, most commonly parkinsonism, and these particular patients presented with very variable courses and patterns. In the late 1960s, one particular group of these post-encephalitic (PE) patients remained hospitalized in Mount Carmel Hospital in New York City. 15

In 1966, when Dr. Oliver Sacks first went to Mount Carmel Hospital,

there were still some eighty PE patients there, comprising the largest known, and perhaps the only, such group remaining within the United States. Indeed, these patients, together with a similar community in Highlands Hospital, England, may have been among the last few such 20 afflicted individuals remaining in the world at that time.

Between 1966 and 1969, Dr. Sacks and some of his colleagues made a major change at Mount Carmel by bringing the majority of their PE patients together into a single, organic, and self-governing community. This was done to give their patients a sense of belonging, instead <sup>25</sup> of being treated as condemned prisoners in a vast and hopeless institution. The aim here was to improve their overall condition by establishing certain sympathies and kinships, and by relaxing the rigid staff/patient relationship.

Some of the patients introduced in this story are: Leonard, Rose, <sup>30</sup> Hester, Rolando, and Miriam. Most of the patients no longer had visitors but Leonard's mother, Mrs. L., visited every day to take care of her son. Some of these patients were still able to walk freely using two sticks and they spoke well enough to be understood by the staff. On the other hand, another subset of these patients were less ambulatory <sup>35</sup> —they were unable even to turn over in their beds, or just sat motionless in their wheelchairs for hours.

Notes 1 **neurologist**「神経学者、神経科医」 4 **trance-like state** 「昏睡(昏迷) 状態」 7 nervous system 「神経系」 9 afflict 「(精神的・肉体的に) 苦しめる、悩ます」 10post-encephalitic syndrome 「脳炎後症候群」 11 a collection of neurological and **psychiatric disorders**「神経・精神障害の集積」 12 parkinsonism ① 「パーキンソン病、 振せん麻痺」(Parkinson's disease; shaking palsy; trembling palsy)脳のドパミン産生細 胞の低下によって起こるとされている神経疾患。指や手の震え、筋肉の硬直、小きざみ歩行、 前傾姿勢、仮面状顔貌その他の症状が見られる。②「パーキンソン症候群」パーキンソン病 に類似した脳筋肉の硬直による脳の病気一般をさす。この文章では②の意で使われてい 13 variable「変わりやすい、定まらない」 13 course and pattern「進行と傾向」 る。 14 **post-encephalitic patient** 「脳炎後遺症患者」 17 comprise 「~より成る」 24 **a single, organic, and self-governing community** 「一つの組織的な自治コミュニティー」 26 condemned prisoner 「有罪の判決を受けた囚人」 26 **vast**「広大な」 28 rigid 「硬 35 ambulatory 「歩行できる、床に就ききりでない」 直したし 35 subset 「一団 | 

### True or False Questions

- 1. ( ) Most of the encephalitis lethargica patients died in the 1920's.
- 2. ( ) At Mount Carmel Hospital in 1969, the staff and post-encephalitic (PE) patients had a close relationship.
- 3. ( ) When Dr. Sacks joined Mount Carmel, there was unanimous support, among hospital staff, for his ideas.
- 4. ( ) Many PE patients were found throughout the world in the 1960s.
- 5. ( ) Mrs. L. always visited Leonard.

## **IV** USEFUL EXPRESSIONS

The following sentences were used in Dr. Sacks' original book. Use the hints below to help you to accurately translate the sentences into Japanese.

次の英文は、すべてサックス博士の小説 Awakenings に出てくるものです。それぞ れの語(句)の注を参考に、日本語に訳してみましょう。

1. L-dopa was considered an <u>experimental drug</u> at this time, and I needed to get (from <u>the Food and Drug Administration</u>) a special investigator's license to use it.

**experimental drug**「実験段階の薬、実験的薬剤」(**the**) Food and Drug Administration 「米国食品医薬品局」厚生省の一局で、食料品、医薬品、化粧品の検査や取り締まり、 認可などを行う。略 FDA。

2. It was a <u>condition of</u> such licenses that one use <u>'orthodox' methods</u>, including a <u>double-blind trial</u>, <u>coupled with</u> presentation of results in <u>quantitative form</u>.

**condition of** ~「~の条件」 **'orthodox' method(s)** 「一般的(正統的) な方法」 **double-blind trial** 「二重盲検試験」結果が出るまで、治療条件や患者分類を伏せて おく臨床試験。 **coupled with** 「~と相まった」 **quantitative form**「計量的形態、 計量値」

3. In the winter of 1916-17, in <u>Vienna</u> and other cities, a 'new' illness suddenly appeared, and <u>rapidly spread</u>, over the next three years, to <u>become world-wide in its distribution</u>.

**Vienna**「ウィーン」 **rapidly spread** 「急速に広まる」 **become world-wide in its distribution** 「世界中にその分布を広める」

4. Mount Carmel was opened shortly after <u>the First World War</u> for <u>war-veterans</u> with injuries of the nervous system, and for the expected <u>victims of the sleeping-sickness</u>.

(the) First World War「第一次世界大戦」 war-veteran(s) 「復員兵」 victim(s) of the sleeping-sickness 「眠り病 ((嗜眠性脳炎)の患者)」

5. At Mount Carmel, nurses, <u>aides</u>, <u>orderlies</u>, <u>physiotherapists</u>, <u>occupational</u> <u>therapists</u> and <u>speech therapists</u> gave themselves <u>unstintingly</u> and with love to the patients.

aide(s)「介護補助者」 orderly(ies)「付き添い」 physiotherapist(s) (physical therapist)「理学療法士」 occupational therapist(s)「作業療法士」 speech therapist(s)「言語聴覚士(言語療法士)」 unstintingly「惜しみなく、無条件で」

## **V** LISTENING FOCUS ——

**CD** 3

Please listen to Chapter 1-Dialog 1 and fill in the blanks with appropriate words, expressions, or phrases.

次の会話を聞いて、空欄の英語を聞き取ってみましょう。

## **Dialog** 1

Interviewer:	Can you please tell us what changes you have made at Mount
	Carmel?
Dr. Sacks:	Well, when I arrived there in 1966, almost half of the post-
	encephalitic patients were in a state of pathological sleep. We knew
	we had to improve their quality of life.
Interviewer:	() () () () () () () () ?
Dr. Sacks:	Well, first of all, we had to bring all of the patients into one unit to
	make a self-governing community. We searched for lost relatives and
	I tried to ( ) ( ) ( ) the ( )
	( ).
T., 4	

Interviewer: Were you successful?

Dr. Sacks:

( ), ( ) ( ) ( ) ( )
( ). There was some establishment of sympathies and kinships and a thawing in the staff/patient divisions.

Interviewer: And the patients?

**Dr. Sacks:** After such a long time and considering the severity of the illness, some patients who awoke exhibited a kind of serenity, which may have masked a feeling of hopelessness, whereas others had a clear sense of outrage ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) )

### **W** MORE ABOUT AMERICAN HEALTH ISSUES

#### 精神病医療の歴史

**Psychiatric Institutions: mental hospitals, psychiatric hospitals**(精神科病院)

精神科病院とは、精神障害者の治療およびケアに必要な専門職員をもち、精神障害のある者の入院・ 外来設備を有する専門施設をいう。かつての精神病院は精神障害者を隔離、監禁することに主眼が置 かれたが、現在は、薬物療法、精神療法、作業療法などをできるだけ開放した環境の中で行う治療と ケアを目的としている。

18世紀末から19世紀はじめのフランスで、ピネルが精神障害者を鎖から開放し、病院の閉鎖病 棟の改善を図った。同じく19世紀のイギリスで、テュークがヨーク療養所を設立し、コノリーによ る無拘束運動が広まったが、その処遇はまだまだ不当なものであった。1900年頃からようやくその 研究がなされ、現代の精神医学の基礎が築かれた。しかしながら、世界大戦時に精神障害者は再び迫 害を受けることとなった。第二次世界大戦後には、人間性の尊重が再認識され、精神病院の開放化 が進められるようになり、本格的な治療体制へ移行されてきた。この作品の舞台となっている1960 年代に、アメリカではようやく閉鎖的ケアから治療的ケアに移行し始めた。しかし、現在でも解決す べき問題点が多いのが現実である。

日本では、1879年に上野に、東京府癲狂院が開設された。これが東京府巣鴨病院となり、 1919年に巣鴨から世田谷へ移転され、東京府松沢病院となった。現在の世田谷区松沢にある東京都 立松沢病院が、1973年の精神医学総合研究所の併設に伴って、名実共に日本の精神科の診療と研究 の中心となっている。わが国の現状もまた、医療費や福祉費の問題を含め、考慮すべき問題は多い。

## **W** YOUR OPINIONS

次の英語の質問に対し、英語または日本語で答えてみましょう。さらにグループで 話し合ってみるのもよいでしょう。

Q. Have you had any experiences with people who have suffered similar postencephalitic syndromes or with people with general mental illness?Were these people friends, family members, or strangers?Would you like to share your experiences and knowledge with your group members?